

# 小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

## 夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2013年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	<b>「王さまと九人のきょうだい」</b>  君島 久子 訳 赤羽 末吉 絵 岩波書店	子どものいないおじいさんとおばあさんの所に、ある日9人も赤んぼうが生まれました。このきょうだいがいせいちょうしたとき、王様がむずかしいもんだいを、なげかけてきました。9人のきょうだいは、話しあいながらむずかしいもんだいにいどみます。
絵本	<b>「せかいでいちばんつよい国」</b>  デビット・マッキー 作 なかがわ ちひろ 訳 光村教育図書	自分たちの国ほどすてきなものはない、と信じている大とうりょうはいろいろな国へせんそうをしにいきました。「われわれが世界中をせいふくすれば、みんながわれわれと同じようにくらせるのだからな」でも本当に「いちばんつよい国」が「いちばんよい国」なのでしょうか？
絵本	<b>「山のとしよかん」</b>  肥田 美代子 文 小泉 るみ子 絵 文研出版	山里にひとりで住むおばあさんが、ある夜、家をおとずれたふしぎな男の子に絵本を読んであげると、男の子は毎夜やってくるようになります。その男の子は、じつは…。
図書	にんじゃ <b>「忍者サノスケじいさんわくわく旅日記46 ツルよはばたけ！の巻」</b>  なすだ みのる 作 あべ はじめ 絵 ひくまの出版	一郎太たちは、サノスケじいさんの友だちをたずねて、北海道にやってきました。日高の牧場で馬と遊んでいると、「釧路湿原(くしろしつげん)」のツルたちをぬすもうとしている「まもの」があらわれて…。
図書	<b>「しまのなトラ」</b>  斉藤 洋 作 広川 沙映子 絵 偕成社	足のあるヘビ、しっぽの短いマングースなど…。なかまとは少しちがっていることで悲しい思いをしたりもしますが、アイデアにどりよくとゆうきをプラスして、さいごは自分らしい生き方を見つけていきます。

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	<b>「バロンいっしょにあるこう」</b>  大島 まや 作 狩野 富貴子 絵 PHP研究所	「盲導犬(もうどうけん)」としてはたらいてきたバロン。ついに、お父さんとのわかれの日がやってきたのです。バロンは、小学4年生の女の子のいる家にあたたかくむかえられますが、バロンの心はさびしさでいっぱい…。
図書	<b>「パンプキン」</b>  令文 ヒロ子 作 宮尾 和孝 絵 講談社	身近にあっても見すごしていたせんそうの大きなきずあとを夏休みの自由研究で調べてみると…。1945年、終せんすの年に、原ばく投下の練習のため、もぎ原ばく・つうしょうパンプキンばくだんが日本各地に落とされていた事実を読み物でしようかします。
図書	びじゅつかん <b>「おばけ美術館へいらっしゃい」</b>  柏葉 幸子 作 ひらい たかこ 絵 ポプラ社	「アルバイトぼしゅう。しきゅう! 美術館館長もとむ。ただし、10歳以下の女の子にかぎる」美術館の館長のアルバイトをすることになった、まひる。おもしろそうと、軽い気持ちでドアを開けると、そこには…。
図書	ぼん <b>「盆まねき」</b>  富安 陽子 作 高橋 和枝 絵 偕成社	8月になりました。なっちゃんの家は今年もお盆をむかえに、おじいちゃんとおばあちゃんの家へでかけます。おじいちゃんたちが、楽しい話やせんそうの話をしてくれるのです。ところが今年は、ちょっとふしぎなたいけんをして…。
図書	<b>「みしのたくかにと」</b>  松岡 享子 作 大社 玲子 絵 こぐま社	ふとつちよおばさんが、たねをまいたそばに立てたふだを、通りかかった王子様が反対に読んでしまい…。たねから「め」が出てふくらんで、どうなるかお楽しみ。